

弥 監 発 第 1 6 号
平成 2 7 年 8 月 2 5 日

弥彦村長 小 林 豊 彦 様

弥彦村監査委員 本 多 克
同 阿 部 正 秀

平成 2 6 年度弥彦村水道事業会計・弥彦村特定環境保全公共下水道
事業会計 決算審査意見書

地方公営企業法第 3 0 条第 2 項の規定に基づき、標題の決算を審査したので、
その意見を別紙のとおり提出する。

平成26年度企業会計決算審査意見書

第1. 審査の概要

1. 審査の対象

- (1) 平成26年度 弥彦村水道事業会計決算
- (2) 平成26年度 弥彦村特定環境保全公共下水道事業会計決算

2. 審査の期間

平成27年8月11日

3. 審査の場所

弥彦村役場 委員会室

4. 審査の方法

管理者から送付された弥彦村水道事業会計決算報告書・弥彦村特定環境保全公共下水道事業会計決算報告書、並びに貸借対照表、損益計算書及び剰余金計算書について、法令の規定に従って作成されているかどうかを確認し、これに記載された計数について、各種関係帳票類及び証書類と照合、あるいは内容の検討を行い、併せて担当課で作成された決算審査資料に基づき、関係職員の説明を聴取して、計数の正確性並びに予算の執行、管理の適正などについて慎重に審査を実施した。

第2. 審査の結果

審査に付された決算諸表は、企業会計2事業とも財政状況並びに経営の内容は適正に表示されており、決算内容の計数正否、収支の合理性についても非違はなく、現金、預金残高も預入先金融機関の残高証明書の合計額と符号していることを確認し、適正なる決算であることを確認した。

第3. 審査の個別意見

各会計の審査概要と意見については、次のとおりである。

1. 平成26年度水道事業会計決算の概要

本年度の収支は、総収入2億1,554万4,756円、総費用は2億160万6,114円で、差引経常利益は、給水人口と家庭用、営業用、学校官公用の給水量減少と、節水機器の普及により、前年度より716万4,585円減の、1,393万8,642円となっており全体の給水量は前年度比2.29%減少した。

なお、未収金分の特別損失1万9,791円は民法の規定に基づくもので、やむを得ないものと思われる。

安全な水の安定給水に心がけ、配水量の減少に伴い、総収入の増加が見込めない状況であるが、健全な企業運営に努められたい。

収益的収支

(単位：円)

区 分	平成26年度	平成25年度	比 較	
			増 減 額	増減率%
総 収 入	215,544,756	211,965,635	3,579,121	1.69
総 費 用	201,606,114	190,862,408	10,743,706	5.63
経 常 利 益	13,938,642	21,103,227	△ 7,164,585	△ 33.95
特 別 損 失	19,791	8,239	11,552	140.21
当 年 度 純 利 益	13,918,851	21,094,988	△ 7,176,137	△ 34.02

・業務の状況

給水人口は前年度に比べ88人減って、本年度は8,802人となり、有収水量も家庭用、営業用、学校管公用いずれも減少しており、有収水量は前年度より2万7,025m³少ない115万4320m³であった。

(単位：円)

区 分	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
給水人口(人)	8,802	8,890	8,934	9,011	9,131
有収水量(m ³)	1,154,320	1,181,345	1,212,840	1,232,526	1,275,199
給 水 原 価	174円65銭	161円56銭	163円53銭	156円41銭	140円20銭
供 給 単 価	176円50銭	176円44銭	176円47銭	176円32銭	176円57銭

2. 平成26年度特定環境保全公共下水道事業会計決算の概要

本年度の収支は、総収入5億6,958万665円、総費用5億8,001万9,317円で、差引経常利益は西川流域下水道に加入したことにより資産減耗費が増加し、前年度より5,567万3,331円少ない、1,043万8,652円の損失となっている。

今年度の水洗化率は88.1%(前年87.3%)となっているが、引き続き未加入者への積極的な加入促進を進め、少しでも安定的な企業運営がなされるよう望むものである。

収益的収支

(単位:円)

区 分	平成26年度	平成25年度	比 較	
			増 減 額	増減率%
総 収 入	569,580,665	450,374,554	119,206,111	26.47
総 費 用	580,019,317	405,139,875	174,879,442	43.17
経 常 利 益	△ 10,438,652	45,234,679	△ 55,673,331	△ 123.08
特 別 損 失	-	-	-	-
当 年 度 純 利 益	△ 10,438,652	45,234,679	△ 55,673,331	△ 123.08

・業務の状況

下水道施設は、住宅などから排出される洗濯水や台所用水などの生活排水が水路や河川に流入し、水質の汚染・汚濁を招き生活環境の悪化をもたらすことを防止し、良好な環境で生活していくためにはなくてはならない施設である。

これまで下水道への加入を働きかけてきていることから、年々処理人口は増加してきたが、全体の人口減により、処理人口は前年度より4人多い7,454人に止まった。有収水量は前年度より2万2,739m³少ない96万3,028m³となっている。

(単位:円)

区 分	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
処理人口(人)	7,454	7,450	7,442	7,441	7,522
有収水量(m ³)	963,028	985,767	1,019,161	1,028,334	1,069,259
処 理 原 価	602円29銭	409円50銭	387円99銭	383円40銭	360円65銭
処 理 単 価	150円00銭	149円99銭	149円99銭	149円99銭	149円99銭

3. 未収金について

次年度以降に繰越される未収金の内、未収工事負担金等を除いた使用料については、水道事業では、725万3,745円(前年656万788円)、下水道事業では、842万8,636円(前年917万1,319円)となっており、2企業会計合計で、前年度より4万9,726円減の、1,568万2,381円となっている。

税務等担当各課とも連携の上、早期のうちに万全な対策を講じられたい。